

交通安全意識向上シミュレーション

京都工学院高校

キーワード

VR・3DCAD・交通安全・事故防止対策

安全意識向上をコンセプトに事故に遭うことを体験する VR

【制作背景】

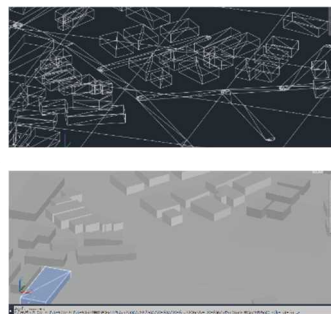
2023年4月に自転車運転に際してヘルメットの着用が努力義務化されたが、警察の調べによると実際に着用している人が全国で13%というのが現状である。そこで、スピードの出しすぎなどの危険な運転による事故が多いのを受けて、安全意識の向上を促すVRを制作することとした。

【VRの概要】

交通安全意識向上シミュレーションは、実際に事故の発生した場所や危険な場所を仮想空間上で構築する。そして、事故の原因などを再現、VRを用いて体験することで類似する場所や原因が明確になることにより注意・分析を促し、安全意識が芽生える助けとなるシミュレーションである。



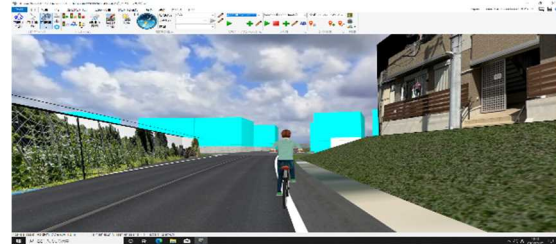
① CADMAPPER からデータを取得し編集



② AutoCAD による3Dモデルの制作



③ テクスチャを貼って事故現場を再現



④ Win/road を用いて VR 化

【より広い範囲を補うために】

今回制作したVRは学区内の登下校路から挙げたポイントのみであるため、日本中の事故の多発している場所やポイントや大きな事故があった原因などを分析する。そして、より広く、また自転車目線だけでなく歩行者や自動車など視点を変えたVRを制作し、より多くの交通事故を減らすための安全意識の向上に努めていきたい。